



### 県民が安心できる医療体制を構築

主担当部局：医療政策部



高度医療拠点病院として整備を予定している県総合医療センター（イメージ図）



診療風景（イメージ）

## 目指す姿

必要な医療を適切に受けられる体制を構築するため、命の始まりから終わりまで切れ目のない医療提供体制を構築し、個々の県民が最適のケアを選択する機会と情報の提供を行い、県民が納得できる医療を提供します。



●平成29年度までに県民アンケート調査（平成24年度）で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。

急病時に診てもらえる医療機関があること（重要度1位、満足度19位）

※31項目中

2.75ポイント→

**3.00**ポイント

安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること（重要度5位、満足度28位）

※31項目中

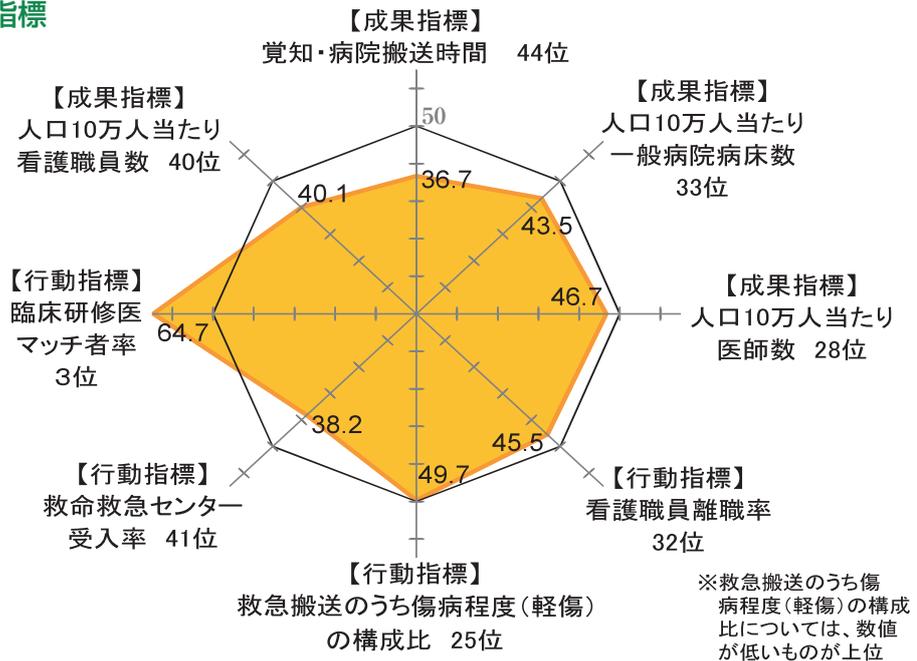
2.61ポイント→

**2.80**ポイント

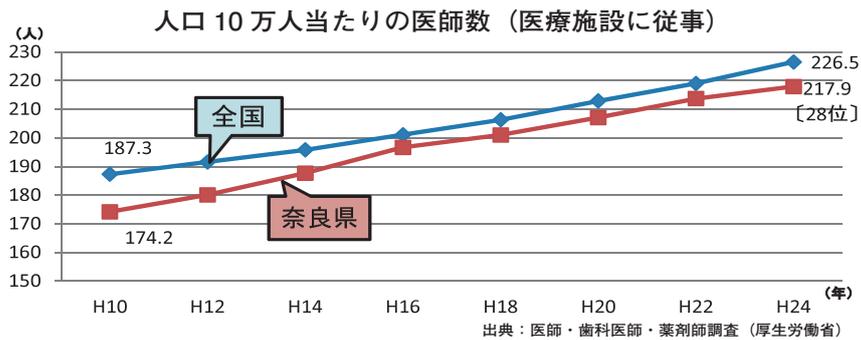
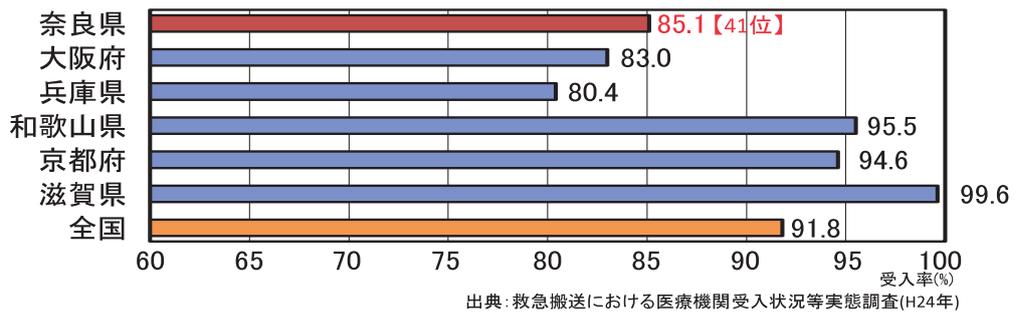
※県民アンケート調査は5段階で評価しています。

分析

■ 主な指標



救命救急センター救急患者受入状況



■ 重篤な救急患者に対応する救命救急センターの受入率は、平成22年(全国45位)よりやや改善しています。

◎奈良県: 85.1% (全国41位) 全国平均: 91.8% (平成24年)

■ 人口10万人当たりの医師数(医療施設に従事)は全国平均を下回っています。(特に産婦人科、小児科、麻酔科では医師が少なく、病院勤務医の不足が顕著)

◎奈良県: 217.9人(全国28位) 全国平均: 226.5人(平成24年)

■ 臨床研修医マッチ者率(定員充足率)は、全国でも上位を維持しています。

◎奈良県: 90.4% (全国3位) 全国平均: 76.1% (平成25年度)

■ 看護職員離職率は、平成21年度以降全国平均を下回り改善傾向にあります。

◎奈良県: 10.5% (全国32位) 全国平均: 10.9% (平成23年度)

## 戦略1 高度医療の充実を図ります。

主担当課：医療政策部 病院マネジメント課

### 目標

- ▶ 将来にわたって持続可能で安定的な救急医療体制、周産期医療体制等の構築と総合的ながん対策の推進など**高度医療の充実**を目指します。

### 取り組み

北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを整備

中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学附属病院を整備



県立医科大学附属病院新病棟（E病棟）（イメージ図）



県立医科大学附属病院新病棟（E病棟）  
放射線治療室（最新鋭の放射線治療装置  
（リニアック））

### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを整備				
◎全面的な建て替え整備	造成実施設計	造成工事		
	建築実施設計	建築工事		
◎診療機能の段階的整備		機能整備		
◎県立病院の地方独立行政法人化	準備		法人化	
中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学附属病院を整備				
◎新病棟（E病棟）の整備	一期工事	二期工事		竣工
		機能整備		
◎診療機能の段階的充実		機能整備		

## 戦略2

### 救急医療・周産期医療体制を構築します。

主担当課：医療政策部 地域医療連携課

#### 目標

- ▶ 高度医療拠点病院と地域の医療機関が役割を分担及び連携して患者を受け入れる体制の構築を目指します。
- ▶ 救急度の高い患者（心肺停止・脳卒中・急性心筋梗塞・重症外傷等の重篤疾患）の受入先確保に要する病院照会回数が4回以上の割合を平成29年度までに半減します。（平成23年度：13.2%）
- ▶ 小児の一次救急医療体制を県内全ての市町村で確保します。（広域連携による整備を含む）（平成24年度：32市町村）

#### 取り組み

##### 重症疾患について「断らない救命救急」体制の整備



総合防災訓練（救急受入体制）



NICU（新生児集中治療室）

##### 休日夜間応急診療所の整備

##### 救急安心センター（#7119）の運営

##### 周産期母子医療センターの充実

#### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度
重症疾患について「断らない救命救急」体制の整備				
◎重症疾患について「断らない救命救急センター」の整備			充実整備	
◎救急搬送ルールの策定等			運用・見直し	
休日夜間応急診療所の整備			施設・設備整備	
救急安心センター（#7119）の運営			運営	
周産期母子医療センターの充実			充実整備	

### 戦略3

## 医師・看護師の確保を図ります。

主担当課：医療政策部 医師・看護師確保対策室

### 目標

- ▶ 医師不足の診療科（産科・麻酔科・小児科）、救命救急センター及びへき地に勤務する**医師を育成し、偏在の解消**を目指します。
- ▶ 総合的な診療ができる**「総合医」を育成**します。
- ▶ 看護師の養成・定着を促進し、**不足の解消と看護の質の向上**を目指します。
- ▶ 病院における継続的な人材確保を推進するため、**病院経営力の向上**を目指します。
- ▶ 国際水準の医療技術を持つ**医師・看護師等を育成**します。

### 取り組み

地域医療提供体制を踏まえた医師配置システムの運営

医師・看護師の養成・定着促進

病院経営力を持った人材の育成

へき地医療の充実



診療風景（イメージ）



新人教育の様子

## 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
地域医療提供体制を踏まえた医師配置システムの運営				
◎地域医療学講座の運営		地域の医療状況の研究、医師育成プログラムの研究		
◎地域医療支援センターの運営		ドクターバンク、県費奨学生の配置及びキャリア形成支援		
医師・看護師の養成・定着促進				
◎県立医科大学の定員増		緊急医師確保枠、地域枠の定員増		
◎医師確保修学資金の貸与		募集・貸与決定		
◎臨床研修医確保の推進		臨床研修病院合同説明会・研修医の集い等の実施		
◎女性医師の復職応援		女性医師復職研修の実施、ネットワーク形成支援		
◎「奈良看護」の推進		推進		
◎看護職員に対する研修の充実		新人看護職員卒後研修、中堅看護職員研修等の実施		
◎看護師キャリアアップ支援		認定看護師等資格取得支援		
◎看護職員メンタル相談窓口の設置		窓口設置・運営		
◎医療勤務環境改善支援センターの設置		アドバイザー派遣支援、研修会等の実施		
◎看護教員に対する研修の充実		看護教員研修の実施		
◎看護職員復職支援		集合研修・病院実習の実施		
◎外国人医療従事者の受入等による医療技術の交流		受入体制の検討、 海外等関係機関との調整	受入体制の整備	職員の海外留学
病院経営力を持った人材の養成				
◎病院経営講座開催		実施		
へき地医療の充実				
◎へき地医療を支える「総合医」の育成		育成プログラムの実施		



病院内の様子

## 戦略4

### 地域の医療機関による連携体制を構築します。

主担当課：医療政策部 地域医療連携課

#### 目標

- ▶ 救急の重要疾患（脳卒中・急性心筋梗塞・重症外傷・急性腹症・周産期疾患）における**公立病院の役割**について、**協定を締結**します。
- ▶ がん、脳卒中、急性心筋梗塞について、**奈良県共通の地域連携パス**を運用し、**医療機関の役割分担**を進めていきます。

#### 取り組み

地域における病病連携や病診連携の推進



診療の様子

健康・医療ポータルサイトの運営等



ポータルサイトトップページ

#### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
地域における病病連携や病診連携の推進				
◎救急隊と医療機関との連携	搬送ルール運用			
◎救急重要疾患における医療連携体制の構築	地域連携パス運用			
◎がん、脳卒中、急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進	地域連携パス運用			
◎糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医(非専門医)の連携	検討、協議、推進			
健康・医療ポータルサイトの運営等	コンテンツ拡充		情報発信	

## 戦略5 南和地域の医療提供体制を充実します。

主担当課：医療政策部 病院マネジメント課

### 目標

- ▶ 南和地域に公立病院新体制を構築するため、南和広域医療組合に参画して、**公立3病院の役割分担、機能再編を進めます。**

### 取り組み

南和地域の医療提供体制の充実

地域医療連携体制を踏まえた医師配置システムの運営（再掲）

へき地医療の充実（再掲）



南和地域の3つの救急病院を1つの救急病院(急性期)と2つの地域医療センター(療養期)に役割分担を行い体制を再構築します。

### 工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
南和地域の医療提供体制の充実				
◎救急病院の整備	基本・実施設計	新築工事		
◎地域医療センターの整備	基本設計	実施設計		改修工事
◎医療機能の再編	検討、協議、推進			
地域医療提供体制を踏まえた医師配置システムの運営（再掲）				
◎地域医療学講座の運営	地域の医療状況の研究、医師育成プログラムの研究			
◎地域医療支援センターの運営	ドクターバンク、県費奨学生の配置及びキャリア形成支援			
へき地医療の充実（再掲）				
◎へき地医療を支える「総合医」の育成		育成プログラムの実施		

## これまでの成果

急病時に受診すべきかなどのアドバイスを行う  
**電話相談窓口を継続して実施。**  
 (1日平均相談件数 平成20年度：12.1件→  
 平成24年度：114.7件)

臨床研修医を確保するため、臨床研修病院の  
**合同説明会を実施**しました。  
 (県内の臨床研修開始者数 平成25年度：94名)

周産期母子医療センターの充実等により、**ハイ  
 リスク妊婦の県内受入件数が増え**まし  
 ました。  
 (平成20年：158件→平成24年：258件)

定着促進施策の推進等により、**看護職員の  
 離職率が低下**しました。  
 (平成20年：13.4%→平成23年：10.5%)

## 主な指標の動き

### よくなっている指標

#### ◆人口10万人当たり医師数

196.7人(全国26位) [H16] → 217.9人(全国28位) [H24]  
 ・全国平均を下回っているものの、継続して増加傾向にあります。

#### ◆人口10万人当たり看護職員数

921人(全国40位) [H20] → 1,022人(全国40位) [H24]  
 ・全国平均を下回っているものの、継続して増加傾向にあります。

### 変化が見られない指標、低下している指標

#### ◆覚知・病院搬送時間

33.0分(全国38位) [H18] → 43.1分(全国44位) [H24]  
 ・全国的に伸びる傾向ですが、奈良県は全国平均以上に伸びています。





県内の病院で経験を積む臨床研修医



認定看護師・専門看護師（県立医科大学附属病院）